

あした天気になあれ。。

長かった梅雨もようやく明けようとしています。コロナ禍の拡大に加え、各地の豪雨被害のニュースには心が痛みます。被災された皆さまには心よりお見舞いを申し上げます。

この春からの半年、私の生活も大きく変わりました。昨年の初春に舞台のツアーで九州地方を巡ったのが夢のようです。

2月、@シアタークリエ 音楽朗読劇ヴォイサリオンⅦ「女王がいた客室」が公演二日目から中止になり、急きょ無観客上演での動画配信が決まりました。プロデュー



サー白石朋子さんの配慮で、来場予定だったお客様やファンの方からのツイートが一枚一枚客席に貼られました。「心はクリエに」を合言葉に全チームの収録が終わり、この5月からの配信も無事に終えることができました。

4月、中止の嵐の中で、こちらも急きょリモートドラマが実現しました。NHK制作の3作中の1作品に出演しました。小日向文世さんと二人、演出の渡辺一貴さんを交えた3人で携帯のLINEを使用してリハーサル。本番はパソコンを介しての会話で、あっという間の出来事でしたが、最後まで対面はありませんでした。なんとも不思議な感触でした。

ツイッターといい、ズームでの「会議」といい、昭和な私にとっては未知との遭遇で、とにかく瞬時に物事が運ぶことに驚き、目を見張る思いでした。これを機に演劇でもドラマでも新たな世界が拓かれていくに違いありません。今は試行錯誤の苦しい日々ですが、今後に大きな可能性を感じています。

そんな中、西海岸在住の友人からメールが入りました。コロナウイルスの感染拡大により様々な影響を受けている子ども

たちに一日でも早く自身で理解する手立てを渡したい、と、上田勢子さんが自ら見つけた絵本を翻訳し、日本でも6月に発売されました(子どもの未来社)。「こいぬのルナ、コロナウイルスにたちむかう」。絵も文章もやさしくて、巻末には親御さんがお子さんの疑問に答えられるように簡単なQ & A



ついています。子どもはもちろん大人にも、今の状況とこれからを考える上で最適なツールだと思います。ご一読をおすすめします。

「おうち時間」が増えた今、読書にいそしんだり、手紙で友人に無沙汰をわびる



機会が増えました。昨年の春から「日本モンキーセンター」の親善大使を務めていることもあり「霊長類学オンライン体験講座」も受講しました。現地に赴くことが叶わない中、ライブでつながれる時間は貴重で充実したものでした。双方向のやりとりが可能だったので、息を詰めるようにして視聴していました(w)。こちらの企画は継続中(2020年8月23日まで)です。ご興味のある方は、ぜひモンキーセンターのHP (<http://www.j-monkey.jp>)を訪れてみてください。

おサルも好きですが、犬も大好きです。我が家には保護犬の18才8ヶ月(推定)になる柴犬(たぶん)がいます。誇り高いオス犬が、年老いて天使の面差しになりました。



ゲンキの名前のとおり、私たちに日々の元気と癒しを与えてくれます。コロナの恩恵をあげるとすれば、この子とともにある時間を与えてくれたことでしょうか。至福の時間が一日でも長く続くことを祈るように想っています。

七夕月 晦日 霖雨の気配の中で 竹下景子